

製品名: TrxR2 ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab19338**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:50-1:200,ELISA 1:5000-1:20000
分子量	56kDa

抗原情報

遺伝子名	TXNRD2
別名	TXNRD2; KIAA1652; TRXR2; Thioredoxin reductase 2; mitochondrial; Selenoprotein Z; SelZ; TR-beta; Thioredoxin reductase TR3
遺伝子 ID	10587.0
SwissProt ID	Q9NNW7
免疫原	抗血清はヒト TRXR2 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 471-520

背景

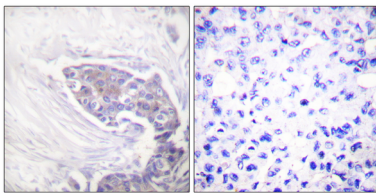
チオレドキシ還元酵素 2 (TXNRD2) ホモサピエンス この遺伝子は、クラス I ピリジンヌクレオチドジスルフィド酸化還元酵素ファミリー

ミリーのメンバーをコードします。コードされるタンパク質はセレノシステイン含有フラビン酵素であり、チオレドキシンを還元状態に維持することで、細胞の酸化還元環境の調節に重要な役割を果たします。哺乳類は3種類の関連するチオレドキシ還元酵素を有します。この遺伝子は、ミトコンドリアにおける活性酸素種の除去に重要なミトコンドリア型をコードします。異なるアイソフォームをコードする選択的スプライシング転写バリエーションが記載されています。[RefSeq 提供、2013年9月]、触媒活性: チオレドキシ + NADP(+) = チオレドキシジスルフィド + NADPH、補因子: FAD、機能: チオレドキシを還元状態に維持します。酸化ストレスに対する防御に関与する。酸化還元制御性細胞シグナル伝達において役割を果たす可能性がある。、その他: 活性部位は酸化還元活性ジスルフィド結合である。セレノシステイン残基は酵素活性に必須である。、配列注意: Secと翻訳されている。、類似性: クラスIピリジンヌクレオチドジスルフィド酸化還元酵素ファミリーに属する。、サブユニット: ホモ二量体。、組織特異性: 前立腺、卵巣、肝臓、精巣、子宮、結腸、小腸で高発現する。脳、骨格筋、心臓、脾臓では中程度に発現する。胎盤、膵臓、胸腺、末梢血白血球では低レベルである。PubMed:10608886によると腎臓では高レベルであるが、PubMed:9923614によると低レベルである。、

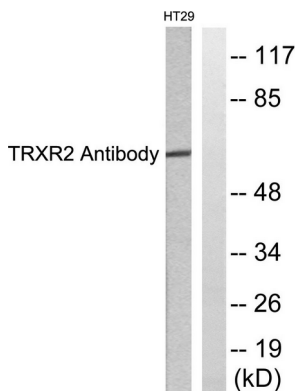
研究分野

ピリミジン代謝

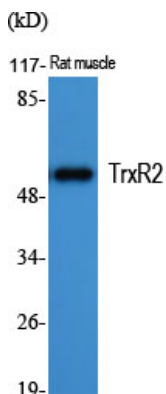
画像データ



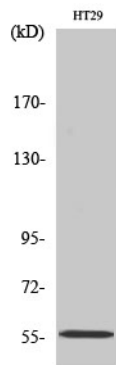
TRXR2抗体を用いたパラフィン包埋ヒト乳癌組織の免疫組織化学染色。右の写真は合成ペプチドでブロッキングした画像です。



TRXR2抗体を用いたHT29細胞ライセートのウェスタンブロット解析。右レーンは合成ペプチドでブロッキングされている。



TrxR2ポリクローナル抗体を用いた様々な細胞のウェスタンブロット解析。二次抗体は1:20000に希釈した。



TrxR2 ポリクローナル抗体を用いた HT29 細胞のウェスタンブロット解析。二次抗体は 1:20000 に希釈した。